

## 令和5年度 第1回磐田の未来を語る会 懇談記録

日時：令和5年10月25日（水）14時～15時

場所：長野交流センター第1会議室

### 1 参加者の質問・意見

#### 【1】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢化社会の中で、お年寄りが尊厳を持って生きられるのかということが問題になっている。</li><li>・老人クラブ活動の加入者が随分減っている。活動に参加したいという人はいるが、役員になりますかとアンケートをすると途端に減ってくる。</li><li>・行政にも応援してもらわないと、会員を増やそう、活性化しようというのはもう無理になってきている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・老人クラブもサロンも加速度的につくりましょうという事ではなく、やりたい方たちにやっていたくという雰囲気になっていると受け止めている。</li><li>・65歳から老人というのは早すぎるし、幅が広すぎてしまっている。組織の仕組みを変えていかなくてはいけないと思っているが、どういうやり方がいいのかは模索中。</li><li>・地域の役につくことが負担だというイメージがついてしまっている。負担ばかりではなく、仲間が出来たり、社会のためになったり、人の役に立つことでたくさんの楽しみや喜びがあるという経験をしてきた。職員も含めて考え方や価値観を変えていかなくてはいけないと思っている。</li><li>・皆さんには本当に感謝している。やってよかった、楽しい、やりがいがあるという雰囲気に変えている最中。</li><li>・役につくことが面白いという人が増えていけば、市民活動等もまた活性化してくると思っている。役についている人たちをきちんと評価して、表に出して、地域の皆さんたちからも褒められるような、雰囲気をつくっていくことを今やっている。</li><li>・地域の中で自分の役割がきちんとある社会が大事だと思っている。そういう社会にできるように頑張ります。</li></ul>

【2】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住してきて、小学校教諭をしている。学校のICT環境も良く、スポーツとの関わりも多く、子どもたちがうらやましい。</li> <li>・子どもたちはまじめで素直な子が多い。一方で真面目ゆえに抱え込みやすいと感じている。</li> <li>・子育てをしていくうえで、放課後の居場所が厳しくなってくるのではないかと感じている。</li> <li>・保健師の訪問で子育て支援センターなどを知って行くようになり、子育てに関わってくれる人が多いと感じている。そういった情報をもっと早く知りたかった。</li> <li>・情報を得ようとしないと入ってこないことが多く、情報がママだけでなくパパにもいきわたるようにするにはどうするといいいのかなということを感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の居場所は今より悪くなることはまずないと思っている。そのように取り組んでいる。</li> <li>・インフルエンザなどで、長期間休まなければいけないときは大変だと思う。</li> <li>・放課後児童クラブは18時30分までがいいかなとも思っているが、子どもとの時間が短くなって時間に追われることになってしまう。18時30分までにするのが本当にいいのかという議論はしている。</li> <li>・支援センターには力を入れていて、小さなところをたくさんつくっている。</li> <li>・早い段階で情報を知りたいというのはその通り。できれば妊娠期に伝えたいと思っている。育休や産休に入るタイミングで夫婦に集まってもらって話す機会をつくるなど、いい仕組みがつかれないかと思っている。</li> <li>・「いわた子育て情報誌わわわ」はデジタル化等で見づらくなった。紙で必要な情報は、紙でしっかり届けるといことは、対応し続けていきたいと思っている。</li> <li>・子育ての問題は、相談しようと思っていると子どもの成長とともに解決してしまうが、言おうと思った瞬間に声が届くといいいと思っている。</li> <li>・子どもの居場所は、サロンの開催時間を夕方にしてもらい、シニア世代の方にみてもらうなど、地域の皆さんが関わりをもてるような環境づくりを頑張っていきたいと思っている。</li> </ul>

【3】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のシステムを市民がもっと理解して、政治に声を出し、関心を持つことで、市役所や市議会が誠実で素直な対応をせざるを得なくなる。市民のレベルを上げることが安心のまちにつながるんじゃないかなと思っている。</li> <li>・今の市役所が誠実なのか、将来の展望があるのかと聞かれるとそうは感じない。職員は現状把握もあまりしておらず、今後の課題も展望もないように感じた。</li> <li>・10年後、20年後、50年後のビジョンを持って政策を進めてほしい。</li> <li>・中長期的に、農水産物の価格維持をどうしていきたいか、どうしていくのか考えを聞きたい。</li> <li>・市内産、国産のものを選ぶという消費行動が磐田に限らず日本を守っていくことになるということ、食育を通じて分かればもっと安全な、安心できるまちになるのではないのかと思っている。</li> <li>・磐田市の死亡者数が著しく増加している問題について陳情を出したが否決になった。死亡者数が増え出したのは、新型コロナワクチンの接種開始時期とほぼ重なるところがあり、コロナワクチンに対する安全性や危険性、死亡者増加問題に対する見解、意見を聞きたい。</li> <li>・厚生労働省が発信している情報以上の情報を市役所がどう発信していくか。情報発信、市民との情報共有のやり方についてもお伺いしたい。</li> <li>・食料の添加物などの知識が深まれば、健康にもつながると思う。食育はもっと力を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーガニックの給食についての研究を少し前から始めている。</li> <li>・日本は雑草が非常に生えやすく虫がおこりやすいので世界と比較するのは非常に難しい。オーガニックに振り過ぎてしまうと、ルールを守ってやっている人たちを否定してしまうことになったり、それによって価格がつかなくなってしまったりすることに対してのリスクもある。研究から始めている。</li> <li>・学校給食のコストも上がってしまうので、どんなふうに抑えようか、仕組みを考えているところ。</li> <li>・新型コロナワクチンのときも、オーガニック給食や無農薬野菜の学校給食での取り扱い方についても、他の首長とも情報共有をしている。</li> <li>・他の自治体でトライアルしていることの情報ももらいながら、磐田市でできることをやっていくというスタンス。</li> <li>・ワクチンは課題があると思っている。情報を収集して、話を受け止めて、自分の中で咀嚼して市政に反映するぐらいしか出来ないと思ったので、そういう対応をしていた。</li> <li>・市政や世の中の動きに関心を持つことは極めて重要なことだと思う。</li> <li>・できるだけ皆さんに情報を出しながら、その中で、いいか悪いか判断してもらったり、意見をいただいたりしながら市政を前に進めていきたいと思っている。自治の中でみんなが無関心でいることほど、危機的状況はないと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無関心な人が多い。それを関心あるようにするには、どうすればいいと思っているか、これからどうしていくか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういう機会をつくり、こういう機会につながった人をもう1回つなげていき関心がある人たちを増やしていくというやり方しかないと思っている。</li> <li>・高校生や20代に対する、アプローチをしっかりとやっていきたいと思っている。</li> </ul>

(全員の発言が終了したので、時間が許す限り、意見交換)

【4】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"><li>・豊岡地区で水害があった。ボランティアに出たが磐田市民の出る数が少ないと感じた。</li><li>・もう少し関心を持つことが、必要なんじゃないのかということを感じている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分のことと公共でやることに二極化していて、公共でやるが増えている。</li><li>・みんなでやれることはみんなでやってみようという社会にしていく必要があると思う。そのために、皆さんに情報提供しながら、皆さんで考えてもらう機会をつくることを頑張っていきたい。</li></ul>

【5】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"><li>・市長が一番やりたいことは。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学びの場をもっとたくさんつくらなければいけない。</li><li>・いろんなジャンルで学びと対話。市政全般だけでなく、子育てなら子育てで、現状や最先端の事例を学び、対話によって自分たちに何ができるかを考え、それを市民活動につなげていくということをずっとやっていきたいと思っている。</li></ul>

【6】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"><li>・市役所職員にはもうちょっといろいろなチャレンジしてほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本当にそのとおりでと思っている。</li><li>・多様な人たちがいる中で、全部を受け止められる余力がなくなっているというのは職員の中にもあると思う。しかし、安心できるまちは多様なまちだと思っている。一人ひとりにカスタマイズした状況で、市ができる安心できる環境づくりをやっていく。みんな心が豊かで安心できる社会を目指していくために、一人ひとりに寄り添っていかなくてはならないと思っている。</li></ul>